

小中学校、保育園での放射線量の計測を行うべきです。  
定期的に測定して、数値を把握しデータを探っておくべきと考えます。  
この地方では、それほど心配する必要はないかもしれません。  
しかし、  
計ってみて、数値がはっきりすれば、市民は「安心」します。  
これも重要な「情報公開」です。

神経質になり過ぎる必要はないけれど、安心材料は必要です。  
特に、子どもたちの環境に関しては！  
それに、  
平常時の数値をもっていなければ、変化があった時に  
その「変化」がどれほどか分からないじゃありませんか。  
測定器は、消防署に4台あるといいます。  
なら、使いましょうよ。

一般質問でも、複数の議員からそうした声があったのですが、  
市長は、愛知県が計っているから、市ではやらないといいます。  
なぜ、そういう発想になるのか…理解に苦しみます。  
あるなら使いましょう。

教育委員会では、既に一部の学校では計ってもいるそうですが、  
全体でデータを探っておくべきと思います。  
こんな時です。  
「情報」を出すことに無頓着であっていいわけがない、私はそう考えます。

東電の「スピード」も、初めから公開されていれば、もっと違う展開が  
あったのではないかと、  
有識者の知識も知恵も結集されたのではないかと思えます。  
何より、情報は小出しではなく、正確に出されなければなりません。  
よくも悪くも、判断をするのは「国民」です。